

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-123414 (P2006-123414A)
 【公開日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-019
 【出願番号】特願 2004-316307 (P2004-316307)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 6 5 H 37/04 D

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 29 日 (2007.10.29)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷ジョブに基づいて印刷された用紙に対して仕上げ処理を実行する仕上げ処理装置と、該仕上げ処理装置とネットワークを介して通信することが可能であり、前記仕上げ処理の指示情報を管理する情報処理装置とを備える印刷処理システムであって、

前記仕上げ処理装置は、

前記用紙に実行する仕上げ処理の内容を特定するための特定情報を入力する入力手段と

、
 前記入力手段により入力された特定情報に基づいて、仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する前記情報処理装置に対して、前記特定情報に対する指示情報を取得する取得要求を行う要求手段と、

前記要求手段による取得要求に応じて、前記情報処理装置で取得した該指示情報に基づいて前記用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理手段とを備え、

前記情報処理装置は、

仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する保持手段と、

前記仕上げ処理装置から入力された前記取得要求に応じて、該取得要求に対応する指示情報を前記保持手段から選択する選択手段とを備えることを特徴とする印刷処理システム。

【請求項 2】

印刷ジョブに基づいて印刷された用紙に対して仕上げ処理を実行する仕上げ処理装置と、該仕上げ処理装置とネットワークを介して通信することが可能であり、前記仕上げ処理の指示情報を管理する情報処理装置とを備える印刷処理システムの制御方法であって、

前記仕上げ処理装置に、

前記用紙に実行する仕上げ処理の内容を特定するための特定情報を入力する入力工程と

、
 前記入力工程により入力された特定情報に基づいて、仕上げ処理の内容を指示するため

の複数の指示情報を保持する前記情報処理装置に対して、前記特定情報に対する指示情報を取得する取得要求を行う要求工程と、

前記要求工程による取得要求に応じて、前記情報処理装置で取得した指示情報に基づいて前記用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理工程とを実行させ、

前記情報処理装置に、

仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する保持工程と、

前記仕上げ処理装置から入力された前記取得要求に応じて、該取得要求に対応する指示情報を前記保持手段から選択する選択工程とを実行させることを特徴とする制御方法。

【請求項 3】

ネットワークに接続可能であり、印刷ジョブに基づいて印刷された用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理装置であって、

前記用紙に実行する仕上げ処理の内容を特定するための特定情報を入力する入力手段と、

前記入力手段により入力された前記特定情報に基づいて、仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する情報処理装置に対して、前記特定情報に対する指示情報を取得する取得要求を行う要求手段と、

前記要求手段による取得要求に応じて、前記情報処理装置から指示情報を取得し、取得した前記指示情報に基づいて前記用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理手段と、を備えることを特徴とする仕上げ処理装置。

【請求項 4】

所定の用紙に形成されたバーコードを読み取って前記特定情報を抽出する抽出手段をさらに備え、

前記入力手段が、前記抽出手段により抽出された前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 3 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 5】

前記仕上げ処理手段によって前記用紙に対して前記指示情報に基づく内容で仕上げ処理を実行できるか否かを判定する判定手段と、

前記指示情報に基づく内容で仕上げ処理が実行できない場合、当該指示情報に基づく仕上げ処理を実行できないことを示す警告を行う警告手段とをさらに備えることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 6】

前記警告手段により警告を行う場合、前記用紙に対する仕上げ処理の実行を禁止する禁止手段をさらに備えることを特徴とする請求項 5 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 7】

ＩＣタグに記憶された情報を読み出して前記特定情報を抽出する抽出手段をさらに備え、

前記入力手段が、前記抽出手段により抽出された前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 3 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 8】

前記入力手段は、操作部を介したユーザの操作に応じて、前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 3 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 9】

前記判定手段が、前記仕上げ処理手段に前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な消耗品が供給されているか否か、或いは、該消耗品について、前記指示情報に基づく処理を実行するために必要な量が供給されているか否かによって判定することを特徴とする請求項 5 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 10】

前記判定手段は、前記仕上げ処理手段において前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な用紙の数が、該仕上げ処理手段における綴じ能力を超えているか否かを判定するこ

とを特徴とする請求項 5 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 1 1】

前記判定手段は、前記仕上げ処理手段において前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な用紙の厚さが、該仕上げ処理手段における綴じ能力を超えているか否かを判定することを特徴とする請求項 5 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 1 2】

前記入力手段は、操作部を介したユーザの操作に応じて、仕上げ処理の内容をすることが可能であり、

前記入力手段により仕上げ処理の内容がされた場合、前記情報処理装置に取得要求を行うことなく、前記仕上げ処理手段による仕上げ処理を実行することを特徴とする請求項 3 に記載の仕上げ処理装置。

【請求項 1 3】

ネットワークに接続可能であり、印刷ジョブに基づいて印刷された用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理方法であって、

前記用紙に実行する仕上げ処理の内容を特定するための特定情報を入力する入力工程と、

前記入力工程により入力された前記特定情報に基づいて、仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する情報処理装置に対して、前記特定情報に対する指示情報を取得する取得要求を行う要求工程と、

前記要求工程による取得要求に応じて、前記情報処理装置から指示情報を取得し、取得した前記指示情報に基づいて前記用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理工程と、を備えることを特徴とする仕上げ処理方法。

【請求項 1 4】

所定の用紙に形成されたバーコードを読み取って前記特定情報を抽出する抽出工程をさらに備え、

前記入力工程が、前記抽出工程により抽出された前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 1 3 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 1 5】

前記仕上げ処理工程によって前記用紙に対して前記指示情報に基づく内容で仕上げ処理を実行できるか否かを判定する判定工程と、

前記指示情報に基づく内容で仕上げ処理が実行できない場合、当該指示情報に基づく仕上げ処理を実行できないことを示す警告を行う警告工程とをさらに備えることを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 1 6】

前記警告工程により警告を行う場合、前記用紙に対する仕上げ処理の実行を禁止する禁止工程をさらに備えることを特徴とする請求項 1 5 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 1 7】

ＩＣタグに記憶された情報を読み出して前記特定情報を抽出する抽出工程をさらに備え、

前記入力工程が、前記抽出工程により抽出された前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 1 3 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 1 8】

前記入力工程は、操作部を介したユーザの操作に応じて、前記特定情報を入力することを特徴とする請求項 1 3 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 1 9】

前記判定工程が、前記仕上げ処理工程に前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な消耗品が供給されているか否か、或いは、該消耗品について、前記指示情報に基づく処理を実行するために必要な量が供給されているか否かによって判定することを特徴とする請求項 1 5 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 2 0】

前記判定工程は、前記仕上げ処理工程において前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な用紙の数が、該仕上げ処理工程における綴じ能力を超えているか否かを判定することを特徴とする請求項 1 5 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 2 1】

前記判定工程は、前記仕上げ処理工程において前記仕上げ処理の内容を実行するために必要な用紙の厚さが、該仕上げ処理工程における綴じ能力を超えているか否かを判定することを特徴とする請求項 1 5 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 2 2】

前記入力工程は、操作部を介したユーザの操作に応じて、仕上げ処理の内容を入力することが可能であり、

前記入力工程により仕上げ処理の内容が入力された場合、前記情報処理装置に取得要求を行うことなく、前記仕上げ処理工程による仕上げ処理を実行することを特徴とする請求項 1 3 に記載の仕上げ処理方法。

【請求項 2 3】

ネットワークに接続可能であり、印刷ジョブに基づいて印刷された用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理装置の制御プログラムであって、

前記用紙に実行する仕上げ処理の内容を特定するための特定情報を入力する入力工程と

、
前記入力工程により入力された前記特定情報に基づいて、仕上げ処理の内容を指示するための複数の指示情報を保持する情報処理装置に対して、前記特定情報に対する指示情報を取得する取得要求を行う要求工程と、

前記要求工程による取得要求に応じて、前記情報処理装置から指示情報を取得し、取得した前記指示情報に基づいて前記用紙に対して仕上げ処理を行う仕上げ処理工程と、

を仕上げ処理装置に実行させることを特徴とする制御プログラム。